

四天王寺大学で教員をめざそう！

1967年設立当時から教員を輩出してきた四天王寺大学では、現在も多くの卒業生が様々な場所で教員として活躍しています。特に関西エリアでは、2,437名※もの卒業生が現役で教壇に立っています。今回は、教員としてご活躍中の本学卒業生にインタビューを行い、教員として働くことの魅力を語っていただきました。

※令和6年2月27日現在判明分

学校生活の中にホッとひと息つける“心の居場所”を作りたい。

私が養護教諭をめざした理由は、学校の中にホッとする“心の居場所”を作りたいと思ったからです。私自身、子どもの頃に、「しんどい」と声を上げることができなかったことから、子どもの心の奥の気持ちに気付くことができる存在になりたいと思いました。現在は、教員への夢が叶い、小学校の養護教諭としてケガや悩みの相談、心の不調を訴える子どもへの対応をしています。実際に、養護教諭として勤務する中で、子どもの成長を目の当たりに出来たときは、大きなやりがいを感じます。また、悩みの相談に乗っていた子どもが、教室で元気な経験をしてきた中で、今後立っていることは、ギター・マンドリンクラブで部長を務めたことです。この経験から、広い視野を持ち、物事を計画的に進めていくスキルが身につきました。今年の目標は、子どもだけではなく、保護者や教職員からも信頼される養護教諭になることです。そのためには、泰然とした態度と、豊富な知識を身に付けられるよう、これからも学び続けたいと思います。



奈良県養護教諭
教育学部 教育学科 保健教育コース※1
卒業
矢野 芽吹さん

教員の魅力とは？ 四天王寺大学卒業生に聞いてみた

友達のように一緒になって
楽しみ、同じ視点に立って
子ども達を支えられる
先生が目標。

豊能地区小学校教諭
教育学部 教育学科
小学校・幼児保育コース※1
卒業
片岡 未来さん

私は、子どもの成長に携わる、やりがいのある仕事がしたくて、この職業を選びました。また、自分のクラスを担任して下さった先生への憧れも理由の1つです。実際に教員として働く中で、私が担任をしているクラスの子ども達が、楽しそうに授業を受けていたり、イキイキと学校生活を過ごしている姿を見たりした時、先生になって良かったなと感じます。子どもが向き合う課題に対して、たとえ時間がかかっても、少しでも良い方向に進んだ時や、教職員・子ども達と協力して、大きな行事を成功させた時の喜びは格別です。四天王寺大学に入学したのは、教育現場で活躍した先生方から、授業等を通して、実体験を基に学べるからです。実際に、現場で必要な力や知識を教えていただくことができて、とても満足しています。そんな四天王寺大学の先生方をお手本として、子どもたちと、時には友達のように思いっきり楽しみ、同じ視点に立って支えられるようになることが、今後の目標です。教員という仕事に関心を持つ皆さん、教育の現場は大変なこともありますが、それ以上に子ども達の成長を嬉しく感じられる仕事です。毎日が濃密で、本当に楽しいです。たくさんの方に教員への道を選んでほしいと思っています！頑張ってください！

児童の頑張る姿を見ると、何物にも代えがたい大きな喜びがあります。

大阪府小学校教諭
教育学部 教育学科
中学校英語・小学校コース※1
卒業
上西 花音さん

私は、小学生時代、学校生活など、色々な悩みがあった時に、当時の先生方から支えていただいた経験から先生をめざすようになりました。教員への夢を叶えるために、四天王寺大学への進学を選んだ理由は、教員になるカリキュラムや設備が整っているからです。実際、入学後にインターンシップで悩んだときは、先生方が親身になって相談に乗ってくれました。現在、教員として働く中で、学生時代の学校ボランティアでは見えなかったことに気付きました。例えば、児童が下校してから教材づくりや、運動会に向けたダンスの練習や運動場のライン引きなど。また、会議や出張などもあり、仕事がいっぱいでやってもきりが無い時もあります。しかし、それらをするのは全く苦ではありません。何故なら、子ども達の頑張る姿や、目標が達成できた時の心から湧き出る笑顔を見た時に、何物にも代えがたい喜びがあるからです。また、私たち先生が子ども達のために力を尽くせるのは、ひとえに子ども達が本当に大好きで、頑張る姿を応援したいからです。私は、羽曳野市の小学校に勤務していますが、いつも四天王寺大学から学生ボランティアが来てくれるので、とても助かっています。教員をめざす方、「いい先生」をめざす仲間として、一緒に頑張らしましょう！私自身の目標は、子ども達から気さくに声をかけられる教員になることです。

児童のために努力を惜しまず、自分の心の休息も大切にできる教員に。

大阪府小学校教諭
教育学部 教育学科
小学校・幼児保育コース※1
卒業
福山 美由起さん

私は、小学校3年生の時に出会った担任の先生に憧れて、小学校教諭になろうと思いました。この目標を叶えるために、四天王寺大学への入学を選んだのは、教員採用試験の合格率がとても高かったからです。実際に、教員採用試験に向けたサポート体制は手厚く、小論文の練習をする際に添削していただいたり、何度も面接練習を見ていただいたりしました。先生方から、改善すべき箇所への具体的なアドバイスをいただき、何度も練習を重ねた結果、教員採用試験に合格することができました。今、教員として働くことができています。四天王寺大学の先生方のおかげです。とても感謝しています。実際の教育現場は、正直とても大変です。ただ、子ども達が本当にかわいらしくて、成長している姿を見ることが、私の教員への原動力となっています。そして、子ども達の笑顔や頑張りに、日々触れられることがやりがいとなっています。小学校教諭をめざしている人は、是非夢の実現に向かって精一杯頑張ってください。私も、児童一人ひとりのために努力を惜しまず、心の休息もバランスよく取るような先生になることを目標に頑張ります。

先生になった私の新たな目標。それは…生徒の心に残る先生になること。

大阪市中学校(社会)教諭
人文社会学部
社会学科※2
卒業
福永 一輝さん

私は、「何回失敗しても諦めなければ成功する」という事を教えてくれた。部活動の顧問の先生との交流がきっかけで、教員への夢を抱くようになりました。そこで、高校生の時に教員をめざせる大学を調べ、中でも特に理想的な学びの場として、四天王寺大学を見つけました。「この大学なら、教員に求められる多種多様な知識が得られる」と考え、入学を決意しました。実際に授業はとても充実していて、教職教育推進センターのサポートも、教員をめざす上で大きな力になりました。人文社会学部でも、教員をめざす者として、教職教育推進センターからの手厚いサポートを受けられたことにとても感謝しています。実際に教員となって働いている中で、大きなやりがいを感じる時は、子ども達の成長を感じた時や、子ども達から感謝された時です。そんな私の目標は、「生徒の心に残る先生」になることです。さて、私から、四天王寺大学で教員をめざそうと考えている皆さんに伝えたいことがあります。それは、教員はとても素晴らしい仕事であるということ。夢を実現するまでの道のりは、苦しい時もあれば諦めたくない時もあるでしょう。しかし、それを乗り切った先には、ずっとなりたかった教員への夢を叶えることができたという喜びが待っています。教員への夢に向けて力いっぱい頑張ってください。夢を叶えた先輩として、皆さんの頑張りを応援しています。



「いつも授業をしてくれてありがとう！」そんな手紙に感謝し、ますます頑張ろうと意気込んでいます。

大阪市小学校教諭
教育学部 教育学科
小学校・幼児保育コース※1
卒業
木下 瑞袈さん

子ども達との触れ合いが好きな私は、尊敬する恩師との出会いもあり、小学校教諭への道歩きました。現在、教員として働く中で、やりがいを感じた時は、授業中に同級生の発表を眺めるだけだった児童が、自ら手を挙げて発表を頑張っている姿を見ることができた瞬間です。また、学校へ登校してきた子ども達が、「学校に来るのが楽しい！」と笑顔で話してくれた時や、「いつも授業をしてくれてありがとう！」といった手紙を買った時は、とても嬉しかったです。そんな私が、四天王寺大学に入学した理由は、教員免許取得のための支援や学生指導にとても力を入れていると感じたためです。実際、学校に行くと子ども達と触れ合う機会が他大学よりも多く、現場で現役教員として活躍中の先生方から多くのことを学べます。また、ゼミの先生も、私が教員をめざす上で、親身になって色々な相談に乗ってくれました。今後は、これまで以上に子ども達との厚い信頼関係を築ける先生になりたいと思っています。これから教員をめざす方へ、勉強が嫌で逃げたくなる時、くじけそうになる時があるかもしれませんが、それ以上子ども達との厚い信頼関係を築ける先生になりたいと思っています。そんな素敵な職業である教員への夢を、私は全力で応援して頑張ってください。



子ども達の不安や悩みに寄り添いながら、豊かな未来へと導きたい。

大阪府中学校(国語)教諭
人文社会学部
日本学科※3
卒業
東中 優夢さん

私は、中学時代に憧れた先生の影響を受けて、教員の道を選びました。また、中学生は思春期もあり、とても大変であるといった話を聞いていましたが、だからこそ支えてあげたいという強い思いもあり、中学校教諭をめざすようになりました。その中で、四天王寺大学を選んだ理由は、教育学部以外で、国語科の教員になれる学部があり、教員以外の進路をめざす学生との経験も得られると考えたからです。教職教育推進センターでは、校長先生や面接試験官のご経験がある教育現場のプロフェッショナルが、教員採用試験に向けた面接練習や質疑応答にご対応してくださいました。特に試験直前には集中して面倒を見てくれて、とても親身になって対応してくださりました。私は、教員として働く中で、授業中に子ども達から生まれる新しい考えや疑問に触れることで、子ども達と一緒に成長できることに深い喜びを感じます。また、子ども達が親や友達には相談しづらい問題を打ち明けてくれた時には、不安や悩みに寄り添い、子ども達の未来を豊かなものにできる教員になれるよう頑張っています。今、教員という夢に向かって努力している皆さん。私は、その努力自体が既に素晴らしいことであると感じています。教員の仕事は、大変なこと、辛いこともあります。支えてくれる同僚がいて、子ども達の笑顔に励まされて、それ以上に素敵なことがいっぱいあります。そんな素敵な職業である教員への夢を、皆さんを、私は全力で応援します！挫けそうになっても、諦めず頑張ってください。



学校現場での教育と運営をバランスよく頑張っていきたい！

大阪府小学校教諭
教育学部 教育学科
中学校英語・小学校コース※1
卒業
中上 綾音さん

私は、学生時代に友人関係で悩んでいた時、担任の先生が「あなたはあなたのままでいいんだよ」と声をかけてくれたことが嬉しくて、私も児童を勇気づけられる先生になりたいと思い、小学校教諭への道を決めました。実際に教員として働いている中やりがいを感じることは、子ども達から「先生の授業は楽しい！」と言われてもらえることです。また、運動会で競技や演技をやり切った時の、子ども達の喜んだ表情を見た時にも、先生にとても良かったと感じました。私が教員をめざす上で、四天王寺大学を選んだ理由は、他の大学にはない、学校実地演習が魅力的だったからです。更に、教員採用試験対策では、面接試験官の経験がある教職教育推進センターの先生方にご指導いただき、「本番でどんな面接官にあっても大丈夫」といった自信を持つことができました。今後の教員としての目標は、学校の教育と運営に関する様々な事務をバランスよく対応できるようにすることです。加えて、外国語を強みとした小学校教員になることも目標です。これから四天王寺大学で学ぶ方には、ボランティアなどで沢山の現場経験を積むことをおすすめします。私自身、実際に教員として働いている中で、学生時代に学校ボランティアで授業に参加した際、先生方の声掛けや机間指導の仕方などをもっと注意深く見ておけばよかったなと思っています。教育現場に出ると、子ども達は毎日関わっていきいますが、先生方は職員室でしか会う機会がないからです。教員としてデビューするののために、是非学校ボランティアで多くの先生と関わってください！

「先生に相談しよう！」とどんなことでも頼りにされる先輩かつ先生でありたい。

大阪府中学校(英語)教諭
人文社会学部
国際キャリア学科※4
卒業
青木 桃花さん

私は現在、中学校の英語教員として働いています。その中で、やりがいを感じることは、英語の勉強が苦手な生徒が、分からないことを質問に来た時などの交流をきっかけに、頑張った定期テストで良い結果を出すことができたことです。学校運営では、不明な点を聞きやすくするための雰囲気づくりや声掛けを心掛けています。その結果、消極だった生徒が、質問したり発言したりと、前向きに取り組む機会が少しずつ増えており、コツコツ頑張ってきて良かったと感じました。更に、授業面では、子ども達の英語力を伸ばすことはもちろん、高校入試に向けた指導にも少しずつ力を入れていきたいと思っています。また、生徒指導などの面では、日ごろから生徒への声掛けを継続し、何か悩みがあったら、「青木先生に相談しよう！」と頼りにされる、人生の先輩として教員であり続けたいです。さて、教員をめざそうと思っている方へ、私からメッセージがあります。今、教員になるためにできることは限られていますが、頑張っていることやその中で学んだことは決して無駄にはなりません。教育現場に出て初めて分かることも沢山ありますが、学生である今にしかできないことを余さず経験してほしいです。教員になった際に、頑張ってきたことを実践できるように、この瞬間を楽しみながら、充実した学生生活が送れるよう頑張ってください。

今後の目標は、いい意味で「生徒と遊びながら学べる」先生になることです。

大阪府高等学校(国語)教諭
人文社会学部
日本学科※3
卒業
田尻 遥香さん

生徒会長として、様々な行事に携わってきた高校時代。その活動の中で、最もお世話になった先生は、なんと四天王寺大学の卒業生でした。生徒の為に一生懸命活動する先生の姿がカッコよく、「同じ大学で学べば、私もこんな素敵な先生になれるかもしれない」と思い、四天王寺大学への進学を決意しました。四天王寺大学には、様々な校種・教員で教員をめざす学生や、違う地域から来ている学生と集まって行う情報交換・情報共有や、同じ教員としての同士で協力して行う面接練習・模擬授業は、教員をめざす上でとても力になりました。今、教員として働く中で嬉しいことは、「先生の授業を受けて良かった」「来年も担任の先生になって欲しい」「古典が苦手だと思っていたけど、先生のおかげで分かるようになった」といった生徒たちの声を聞けることです。「生徒たちのために頑張った良かった」と思えること、これが教員の仕事の魅力であると感じています。今後は、「生徒と触れ合いながら学べる」先生になりたいと思っています。指導するだけでは、なかなか言うことを聞いてくれない生徒も、触れ合うことで打ち解けると、次の指導に活かせる話を聞くことが出来ます。教員という仕事は忙しく、生徒と打ち解ける時間を取るのも簡単ではありませんが、コミュニケーションを大切に、生徒目線の親しみやすい先生でありたいです。